

清正公の菊池川治水と石塘400年 in 横島 報告書

報告者：(中)熊本県建設コンサルタンツ協会

1. 日時：平成20年12月7日(日) 10:00～15:00
2. 場所：玉名市横島町横島山(外平山)、山の上展望公園

3. 主旨

熊本城築城400年祭に因^{チナ}んで、清正公が行った玉名市近郊での土木事業『菊池川の繕^{タツワドモ}塘や石ばね』、干拓から生まれた町横島の礎である『人柱を立てた石塘築堤』、こうした清正の遺構(いこう)、歴史を踏まえ、土木事業が如何に国土を形成し、みんなの暮らしの中で役にたっているか、また、未来に向って人々が如何に安心して暮らせるか、又、今後の地球環境等の対策にも最新の土木環境技術を持って対処しなければならないか、我々は土木事業の重要性を各地域の人々に訴えるものである。

4. 「土木の日」熊本実行委員会 委員長挨拶

熊本大学 工学部社会環境工学科 教授
溝上 章志



5. 横島校区まちづくり委員会 委員長挨拶

田上 克昭



6. 表彰式

「有明干拓施設群」土木学会選奨土木遺産に認定
土木学会(山尾敏孝教授)より玉名市(文化課)
へ認定証と銘板を授与。



7. 紙芝居(海から生まれた町～よこしま～) ～生だご祭り～ 横島干拓物語

清正公が菊池川下流域に目をつけ、農民の豊かな暮らしを求め、小田牟田新地の干拓工事に着手、まず、横島山と天水町の久島山との間にある丹倍ヶ淵約400mの川の



締切りと潮止めの為の雑石等を積上げた。
『石塘築堤』工事で、底は深く、激流が渦巻き、何度となく工事を失敗。よって、『古例にならって人柱（着物ば横布でふせとる伝作）を立て』龍神(りゅうじん)様(さま)の怒りを鎮め、難工事の完成を祈願した物語である。



8. 子ども横島潟担い節(踊り) —横島小学校の小学生

20名による歌と踊り—

潟担い節は、干拓地の潟切りに関連した一連の作業の中で、作業者相互の息を合わせるために唄われた仕事唄、作業唄である。

ゆっくりした調子と干拓労働者の労働や生活、思いなどを唄った素朴で即興的な唄が、力強さの中にも腹の底からあふれるような哀感を醸（かも）し出している。



9. 基調講演(テーマ: 清正公と土木事業)

熊本大学大学院自然科学研究科 教授
山尾 敏孝

清正公の菊池川改修（轡塘(くつわども)、石ばね)、白川の鼻繰井手、又土木事業全般に関する講演。



10. パネルディスカッション (テーマ: 石塘と干拓と未来に向けて)

<参加者>

コーディネーター：山尾 敏孝(進行、取りまとめ)
パネリスト

原田 稔(九州農政局玉名横島海岸保全事業所長)

○農政による干拓について

米村 忠(玉名市文化財保護審議会会長)

○干拓地と堤防の歴史

友田 邦男(横島町文化財保存顕彰会会長)

○石塘と菊池川治水及び清正公について

大谷 壽(横島町文化財保存顕彰会、前教育長)

○文化財としての価値

村上 通(熊本県建設コンサルタンツ協会理事)

○「土木の日」趣旨説明



各5分の持ち時間で上記の項目について紹介を行った。その後、
●保存、活用するための維持管理の方策について
●次世代に残すための活用策について
ディスカッションを行った。



11. パネル展示

- ①熊本港湾・空港整備事務所
・環境整備船「海輝」紹介(活動目的、諸元など)他・・・6枚
- ②熊本県
・新幹線熊本駅、玉名駅模型
・坪井川遊水地(管理棟)他・・・11枚
- ③九州農政局玉名横島海岸保全事業所
・玉名横島海岸保全事業の概要他・・・6枚
- ④J R九州熊本支社
・豊肥本線の災害状況・・・10枚
- ⑤(中)熊本県建設コンサルタンツ協会
・昔の治水事業他・・・8枚
- ⑥横島校区まちづくり委員会
・石塘築堤(海から生まれた町～よこしま～)
他・・・5枚



12. 総評

前日までの厳しい寒波により、イベント当日の天候が危ぶまれたが、雲ひとつない快晴に恵まれ、最高のイベント日和になった。前日までの寒さが響いたのか、熊本市報、熊本日日新聞に2回掲載、熊本市近郊のJ Rの各駅にチラシを配布等の宣伝を行ったが、熊本方面からの参加者が少なく、地元多数の300名程度の参加者となった。

「土木の日」の行事の内容と意義としては、成功に終わったと考える。ただ、今後の取り組みとしては、開催時期を見直し、「土木の日」熊本実行委員会の団体、組織、及び各企業が一丸となり、自主的な協力と参加が行われる事を切に望む。

